

〈ヴィルヘルム・ブッシュ〉

18世紀は啓蒙主義の時代(合理的・理性的なものが求められる)→18世紀末からロマン主義の動き。子ども向けの本の出版も増える。



1832		ヴィーデンザール(Wiedensahl)で小間物商を営む堅実な家庭に、7人兄妹の第一子として生まれる。
1841	9歳	ゲッティンゲン近郊の小村エーバゲッツェン(Ebergötzen)に住む、母方の叔父であり牧師のゲオルク・クライネに養育が委ねられる。 ・生れ故郷とは165キロ離れていて、馬車で三日の距離 ・生涯の友となるエーリッヒ・バッハマン(粉ひきの息子)との出会い ・二人は絵を描くことも含め、叔父から個人教授を受ける。
1846	14歳	叔父の一家とリュートホルスト(Lüthorst)に転居
1847	15歳	ハノーファーの総合技術学校にて機械学の勉強を始める。父はたいそう喜んだ。
1851	19歳	技術学校卒業寸前に、デュッセルドルフの美術学校に移る。しかし、技法の習得に偏った授業内容に失望
1852	20歳	アントワープの王立美術学校に移る。16/17世紀、ネーデルラントの巨匠の作品から多大な影響を受ける。重度のチフスにかかる。
1853	21歳	帰郷し、自然を対象としたスケッチ、絵画に取り組む。ヴィーデンザール周辺の農民から、民話・伝承・俗謡を収集する。養蜂にも取り組む。
1854	22歳	バイエルン王立美術学校(ミュンヘン)に移る。青年芸術家の団体「Jung Muenchen」に加入
1859	27歳	風刺漫画を書き始める。風刺週刊誌「フリーゲンデ・ブレッター」に採用される。同誌並びに「ミュンヘン一枚絵」に定期的に寄稿(1871年まで)
1864	32歳	初めての諷刺漫画本「いたずら絵双紙Bilderpossen」を出版 売れ行き不振
1865	33歳	『マックスとモーリッツ』出版 風刺漫画作家としての出世作となる。
1868	36歳	フランクフルトに住む弟オットーの元へ。銀行家ケスラー氏の別荘に住む。ケスラー夫人ヨハンナと交友関係
1872	40歳	ヴィーデンザール(両親はずでに物故)に戻る。牧師館で妹の一家と暮らす。
1877	45歳	ミュンヘンにアトリエを作る。
1879	47歳	妹の夫死亡。牧師の未亡人用の館に移る。
1884	52歳	最後となる風刺漫画本の執筆
1893	61歳	自伝を執筆
1895	63歳	画業を辞め、物語・随筆の執筆に専念
1898	66歳	妹と一緒に、メヒツハウゼンで牧師を務める甥の元へ転居
1905	73歳	甥に風刺漫画「あとでね」の原稿を託し、没後の出版を依頼
1908	75歳	メヒツハウゼンで没

〈ドイツを中心とした動き〉

『少年の魔法の角笛』アルニムとブレンターノが収集したドイツの民衆歌謡(1806-08)

ゲーテ『ファウスト』第一部(1808)

ナポレオンのロシア遠征とその失敗(1812-13)
グリム童話 第一版(1812)

ウィーン会議(1814)→ドイツ連邦発足(1815)

ホフマン「クルミ割り人形とネズミの王様」(1816)
ニュルンベルクーフュルト間、ドイツ最初の鉄道
開通(1835)

ビーダーマイヤーの時代
(ウィーン体制期の文化)

ハインリヒ・ホフマン「もじゃもじゃペーター」出版
(1845)

パリ2月革命(1848)→ヨーロッパ各地3月革命
↓
ドイツではフランクフルト国民議会

ドイツ連邦、もとの形で復活(1851)

ビスマルク首相に就任(1862)

普墺戦争でプロシア勝利(1866)
オーストリア・ハンガリー二重帝国成立(1867)
北ドイツ連邦発足(1867)

1868(日本=明治元年)
普仏戦争でプロシア勝利(1870)

プロシアを中心にドイツ帝国統一(1871)

ビスマルク辞任(1890)

第一次世界大戦(1914-18) カフカ『変身』(1915)